

一般質問

9月定例会では13人が一般質問

9月8日～10日の3日間、13人が一般質問を行いました。掲載している内容は、限られたスペースのため、質問と答弁の要旨を掲載しています。

一人60分の持ち時間の中で、あらかじめ通告していた事項について白熱した質問と答弁が続きました。

会議録は、図書館、各支所、本所ロビーで用意してあります。

議場の傍聴席は、連日満席になるほど市民等多数の方からお出でいただきました。(3日間で123人)傍聴者のみなさんは、質問と答弁のやりとりに真剣な眼差しを向けていました。

これまでの一般質問等の詳細は、会議録、またはホームページ



雪 正文 議員

阿賀野市の行政について「今、出来ること、すべきこと」

質問 天野市政の成果と実績について、いよいよ検証結果が出さるう折り返しを迎える地点に立つて、改めて考え直さなければ間に合わない多様な機会に思いをいたし、現実を見据え質問する。

市民に対して過重な負担をさせることがないよう、細心の注意を払い、阿賀野市浮揚の設計図を描くため①公債費負担適正化計画を見直し変更する時期にきているものと考える。②具体的に明瞭な財政の将来推計を糾す。財源の根拠を明らかにしないまま、行政事業計画を移行することは、市民の生活に実害を及ぼす結果になりかねない。その上で③政策の特化を訴える。優先順位が明示されない施策では、いたずらに市民を生活コス

ト負担増の危険にさらしてしまふ。④国と県への要望を重点強化していく必要性について提案する。最後に当市財政の安全を左右する最大の課題⑤水原郷病院の公設民営化問題を問う。

以上の見地から、阿賀野市が浮揚を果たすために不可欠な考え方を具体的に提示し、当市の行政財政について伺う。

答弁 徹底した歳出削減・市債の発行抑制による財政健全化に向けた取組み・収納率向上による市税収入の確保・阿賀野テクノタウンなどへの企業誘致による税収確保や雇用創出・木造住宅耐震化推進・障害者や高齢者に対する災害時の地域保護体制の確立、安全・安心なまちづくりの推進など、協力社会を志向することにより、持続可能な明るい当市の未来を築くことができるものと考えてこれからも着実に実施していきたい。

石川恒夫 議員

水原郷病院について

質問 平成18年4月から、郷病院の経営改善を目的として、厚生連からの職員受入れと、郷病院職員の派遣研修を実施しているが、その具体的成果について伺う。

答弁 常勤医・臨時医各一名の確保と、介護療養病棟、ドックの再開や、看護基準の見直し、薬品費の値引、電気料金の節減、委託契約の見直し等により3カ年で約10億6,500万円の収支改善を行った。

再質問 それは収支の改善ではない。積算根拠が不適切なものが多く、それらに係る経費額及び損益はどう把握しているのか。又この3年間で一般会計からの赤字補填7億円や、累積赤字約6億3千万円余の増加と、全く整合性が無い答弁であり再度伺う。

答弁 具体的な答弁なし。

再質問 厚生連からの受入れ職員給料は全額郷病院負担であり、研

修派遣職員の給料は、職種によっては50%が郷病院負担となっており、3カ年合計で約1億4千万円余が郷病院負担である。これは厚生連が利益を得た事となる。更に21年度予算では厚生連職員の給料負担が前年度より約1,500万円増額であり、郷病院研修派遣職員給料の逆ザヤによる負担額との合計で郷病院負担はいくら見込んでいるのか伺う。

答弁 資料が無いので解らない。

再質問 10日程前にこの点について事前通告してある。何故隠す必要があるのか。(答弁なし)

その他の関連質問項目

- ・民営化に伴って発生する直接的財政負担について(民営化コスト)
- ・厚生連の事業計画(素案)の評価について
- ・民営化後の管理運営体制や経営成績の妥当性の検証について(設置者責任の担保)

遠藤智子 議員

父子家庭への支援について

質問 ひとり親家庭数の推移とその原因について伺う。

答弁 母子家庭313世帯、父子家庭24世帯、養育家庭2世帯となっているが所得制限の関係から実数はもう少し多い。

母子家庭、父子家庭とも離婚の増加が第一番目にあげられる。

質問 ひとり親家庭の非正規就労状況と支援の方向性について伺う。

答弁 非正規就労状況について調査が未実施のため数字等の把握はないが、今後把握に努める。母子、父子家庭とも「ひとり親家庭」として平等なサービスの提供が図れる施策の必要性を考えている。

質問 児童扶養手当制度の対象となっていない父子家庭に対し、当市で独自支援の検討をすべきと考えるが見解を伺う。

答弁 父子家庭も母子家庭同様に

宮脇雅夫 議員

郷病院の公設民営化の評価と問題点について

質問 ①厚生連から「郷病院の指定管理者応募に対する事業計画(素案)」が提出されたが、この計画の全体的な評価はどうか。また、現在より前進・改善される点及び今後、協議が必要な課題・問題点はなにかを伺う。

答弁 提出された計画は素案であり、詳細は今後、精査・検討が必要なので、全体評価はまだだが、給与・雇用で配慮されている。また、救急医療体制整備と経営収支が改善の方向がしめされている。今後、これらも含め協議・調整していく。

再質問 事業計画では初年度から黒字だが、赤字になった場合の市の財政補てんは、市民が納得できるルールをつくるべきを問う。

答弁 その方向で協議していきたい。

再質問 事業計画では初年度から黒字だが、赤字になった場合の市の財政補てんは、市民が納得できるルールをつくるべきを問う。

質問 ②市民への説明会と議会議決及び公設民営のスタート予定はいつか。今年度中にスタートすべきを問う。

答弁 なるべく早い段階で市民説明会を実施し(9月24日、27日に決定)、市民の意見を聞いた上で、議会に指定管理者の指定の議案上程をして、早急に移行したい。

岡部直史 議員

水原中学校改築計画について

質問 水原中学校改築構想提言(案)と今後のスケジュール、建築費の試算について伺う。

答弁 「改築構想検討委員会」で提言(案)をまとめた。今後関係市民の意見を求め、教育委員会として基本構想をまとめていきたい。

建築費は校舎棟15億4千万円、体育館5億4千万円と試算。その他グラウンド整備費、各種付帯工事費が必要となる。

質問 開かれた学校として地域とのかかわりあい、災害避難所としての位置づけについてどう考えるかを問う。

答弁 地域との関係では、例えば図書室、音楽室、調理室なども可能な限り解放し、利用できることが考えられる。

街の中心部で最大の避難所として位置づければ、改築場所は現在地が望ましい。保健室、給食室などが災害時に役立つような配置が

考えられる。

その他の質問

質問 寺社地区の小学生のスクールバス運行をすべきだと私の質問に、「検討する」と答弁していたが、結論はどうなったか伺う。

答弁 検討の結果、「統合校においては、特別扱いとして基本的にバス等の運行を行う」ことになり、寺社地区は来年4月から運行する。

質問 今後の小学校統合計画、小学校の跡地利用について

答弁 グラウンド砂塵対策について、また、プールの設置要望があるがどう考えるか伺う。

答弁 「提言案」のなかでグラウンドについては、「砂塵対策の実施、散水施設を設置する」とされている。プールについては、構想検討委員会に申し伝える。

水害対策とハザードマップについて

質問 今年度予算化されている洪水ハザードマップ作成の目的と水害対策について伺う。

答弁 水害対策としてハード事業としての河川改修とあわせて、ソフト事業として、被害被害をあらかじめ予測し、被害範囲や避難場所等の防災情報を地図化したハザードマップを作成し、市民に説明会をおこない配布する予定である。

質問 マップ作成河川のひとつの駒林川の改修が進むよう市として努力するとともに、山口地区の沿線住民へ、今後の改修予定についての説明会の実施を問う。

答弁 県からの説明会を実施する。

県からの説明会を実施する。

